

**ギャンブル依存症患者への心理社会支援  
～マインドフルネス認知療法を用いた一事例～**



**別府医療センター 小野上 智也**

# 1.はじめに

## ■ギャンブル依存症とは

その人の人生に大きな損害が生じるにも関わらず、ギャンブルを続けたいという衝動が抑えられない病態をいう。

ギャンブル依存症は薬物治療の効果は確立しておらず、集団（精神）療法や認知行動療法、自助グループ等への参加が重要とされており、家族への心理教育や協力も必要不可欠である。

# 1.はじめに

ギャンブル依存症の治療には多角的な支援が重要であり、ソーシャルワーク実践はその一翼を担う立ち位置にあると考えられる。

## 2.事例概要

### ■基本情報

A氏 男性 40代 両親と3人暮らし  
離婚歴あり、妻子とは疎遠

### ■既往歴

パーキンソン病（当院脳神経内科外来で月1回の受診）  
ギャンブル依存症（診断後、自己中断）

### ■環境

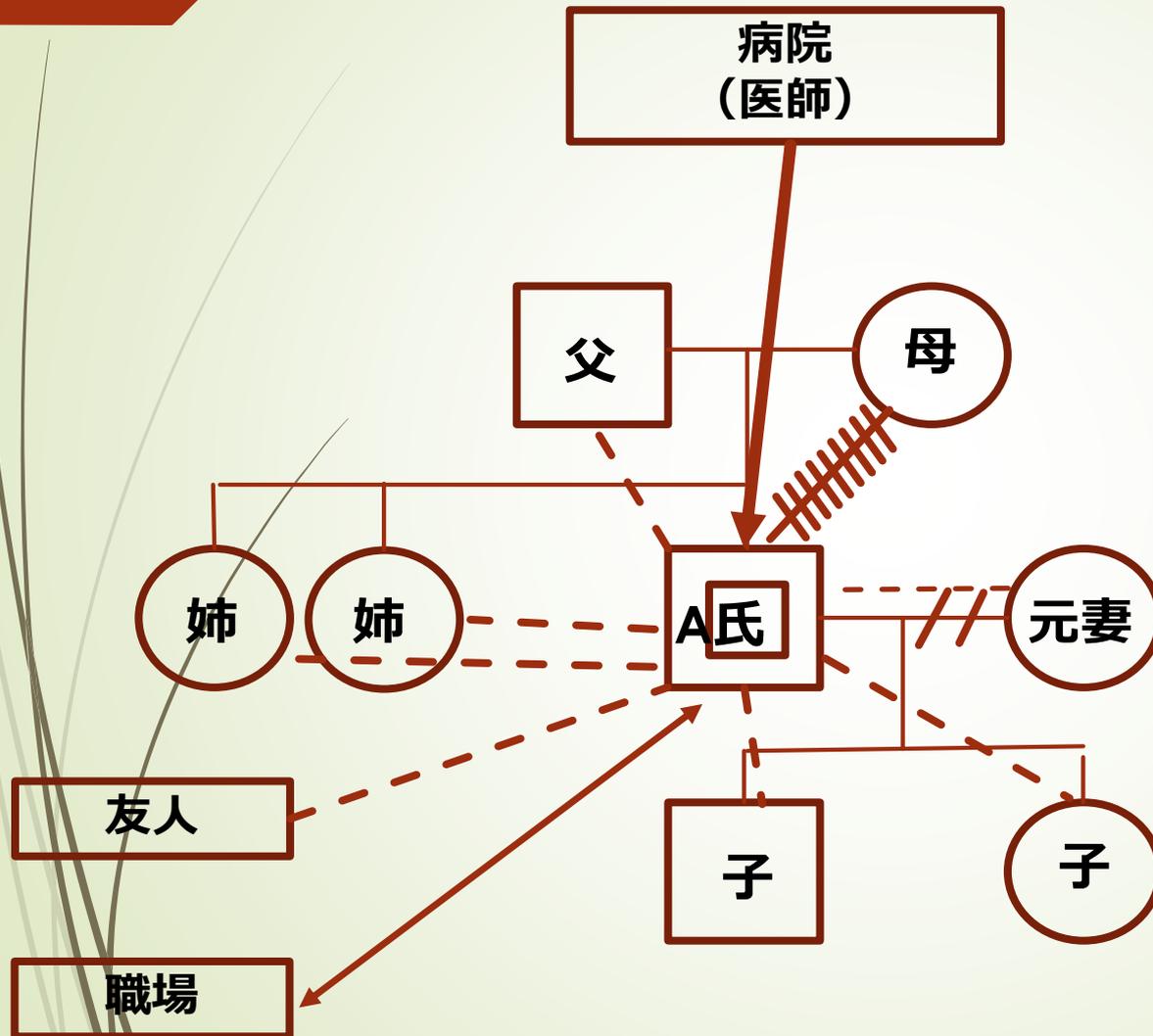
ギャンブルでの借金が800万円あり、5社の金融機関と  
叔父に毎月返済

娯楽施設に勤務しており不規則な生活

### ■経過

パーキンソン病にて脳神経内科にて通院。主治医より  
ギャンブル依存症に対する治療環境の調整目的にて介  
入依頼あり、ソーシャルワーク介入開始。

## 2.事例概要（介入前のエコマップ）



	関係性、資源・エネルギー・関心のフロー (実線の太いものほど重要、もしくは強い関係)
	ストレスのある、又は葛藤のある関係
	希薄な関係

### 3. 倫理的配慮

患者の匿名性を十分担保した上での症例報告は「国立病院機構別府医療センター倫理審査委員会」によって倫理審査の対象外と判断された。

また、医療機関情報及び患者の個人情報を匿名加工することによって、患者が特定されないよう配慮した。

## 4. 結果・分析

本ケースを4つのフェーズに分類する

- ① 受理・インテーク期
- ② 環境調整期
- ③ 心理的支援導入期
- ④ 支援安定期

# ①受理・インタビュー期

初回面談時（本人、母）

## ■ギャンブル

ギャンブルをしていると安心する、自分の居場所

ギャンブル依存症について専門医療機関への入院を提案

→治療に対する抵抗や否認、経済的問題ありつながらず

## ■借金

借金の返済に追われており精神的ストレス大きい

返済は困難と考えており自己破産も視野に入れている

→弁護士等の専門機関への相談希望あり

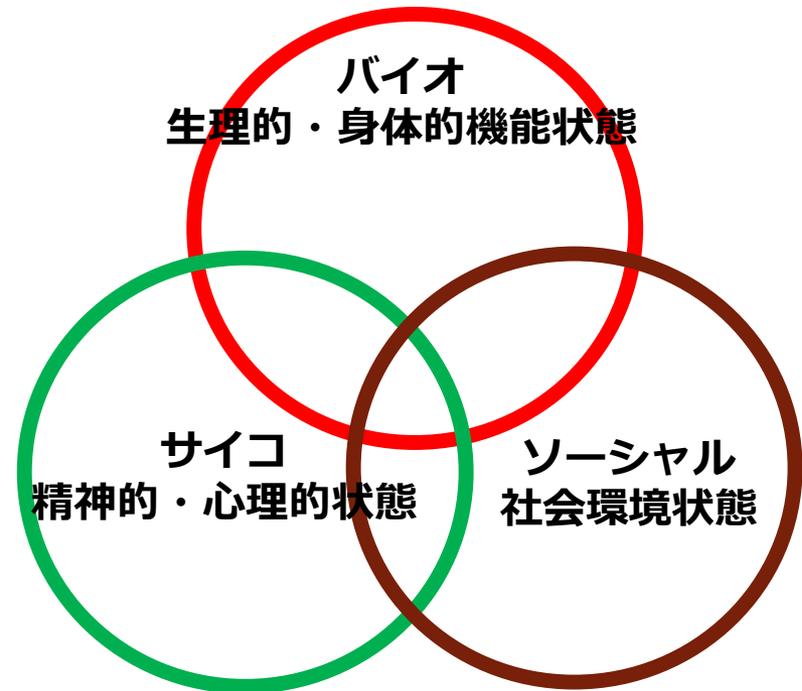
## バイオサイコソーシャルモデルとは

患者やクライアントの置かれている困難な状況を把握するためには、厳密にはバイオ・サイコ・ソーシャルという3つの側面に分けてクライアントの状況や環境を把握する必要があるとする考え方。こうした要因がそれぞれに独立したのではなく、相互に関連し合い複合的に作用しあって困難な状況をもたらしていると捉え、この3つの側面からの問題解決を図ることが望ましいとする。

## 特徴

患者やクライアントの弱い部分・不利な状態にのみ目を向けるのではなく、クライアントの能力や意欲、嗜好、利用可能な社会資源などのストレングスの観点も重視する。

## 患者・クライアントの状況



# バイオサイコソーシャルモデル

人

バイオ（生理的・身体的機能状態）	サイコ（精神的・心理的機能状態）	ソーシャル（社会環境状態）
<ul style="list-style-type: none"><li>・40代男性</li><li>・パーキンソン病（1回/月当院脳神経内科受診）</li><li>・ギャンブル依存症</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・運動が趣味であったが、パーキンソン病によりできなくなった。</li><li>・ギャンブルをしていると落ち着いており、自分も居場所と感じている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・カラオケ店でバイト</li><li>・家族構成：父、母と三人暮らし。長女、次女、長男（本人）。母以外とは関係性は希薄。妻と子ども二人いたが、5年前に離婚。子供たちとも疎遠。</li></ul>

環境

クライアントの環境	社会資源	ソーシャルワーカー機関
<ul style="list-style-type: none"><li>・母が本人の金銭、服薬を管理している。</li><li>・ギャンブルでの借金が800万円あり、4社の金融機関と叔父に毎月返済。</li><li>・友人が数人おり、月回程度会っている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・運動が趣味であったが、パーキンソン病によりできなくなった。</li><li>・ギャンブルをしていると落ち着いており、自分も居場所と感じている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・病院機能としてのSWの介入</li><li>・専門機関への連携</li></ul>

# 問題点として・・・

将来への不安、ギャンブル、借金、  
孤立感、母との関係性

上記問題に対し、心理社会的アプローチが効果的であると考えられた。

心理社会的アプローチのワーカーのゴールは、クライアントと共同で作業すること、修復や強化をすること、そして強さや対処能力を動員したり、資源を活用したり、人と社会的または物理的環境の間に最適の適合を見出すことである。

フランシス・J・ターナー  
ソーシャルワーク・トリートメント下 心理社会的理論

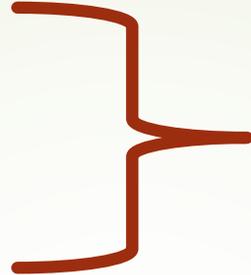
## ②環境調整期

- 借金（本人たちと借金先の確認を行う）

消費者金融5社

携帯電話会社

親族への借金



合計 約800万円

- ・ A氏の給与を母親が管理し、借金の返済。給料のほとんどを借金の返済に充てている。その中で毎日の小遣い（500円/日）を渡す。

返済方法の確認を一緒に整理する必要性あり。



- ・ 弁護士を紹介し、過払い金の有無や自己破産について相談
  - ・ 面談時に返済額や給与との収支を整理。

## 調整結果

- ・ 消費者金融を5社→1社にまとめる。
- ・ A氏の収入から無理のない返済額を見直し、自身が使える費用を確保。
- ・ 自己破産はせずに返済方法を見直す
- ・ 親族への借金返済額は変わらず

**返済先と返済額の整理ができ、自身が使えるお金もあることが分かり、精神的にも楽になったと言われる。**

## ■ 将来への不安

パーキンソン病の進行の不安、仕事が続けられるか

病気

就労

自立

### 主治医との協働

- ・ 症状に応じ内服薬調整
- ・ 制度申請支援  
(身体障害者手帳、障害年金等)  
現在は認定基準満たさず

### 大分県難病支援センター の紹介

- ・ パーキンソン病患者会紹介
- ・ 就労相談

### ③心理的支援導入期

#### ■ギャンブル・孤立感

A氏のギャンブルに対する認知や衝動性に対しアプローチを検討



マインドフルネス認知療法が薬物依存患者の再犯率の低下に寄与しており、依存症に効果的であることが分かっている。

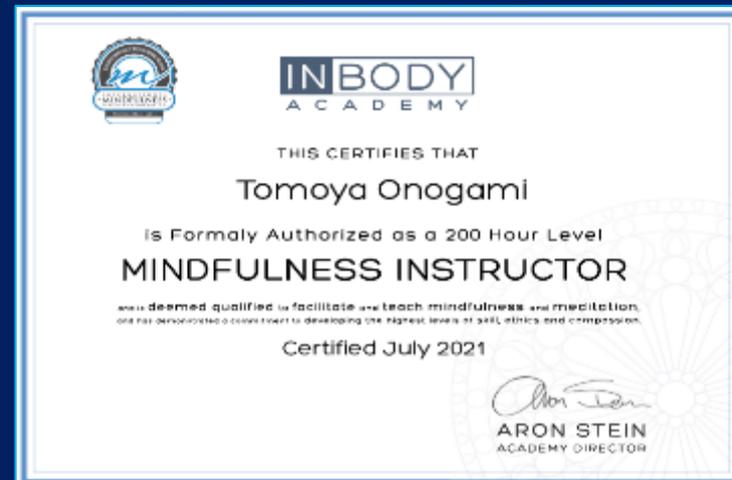
**訪問看護を導入し、マインドフルネス認知療法を協働して行い、A氏のギャンブルに対する認知や衝動性、感じているストレスに対しアプローチを行う。**

# マインドフルネス

▶ マインドフルネスとは

「今、この瞬間の体験に意図的に意識を向け、評価をせずに、とらわれのない状態で、ただ観ること」

日本マインドフルネス学会



国際マインドフルネス協会認定指導者 ライセンス取得

- ・ 煙草を吸う際に肺の膨らむ感覚
- ・ 珈琲を飲む際の香り 等

日常生活の中の身体感覚や気づきに意識を向けることでストレスを低減させる

ギ  
家

ス

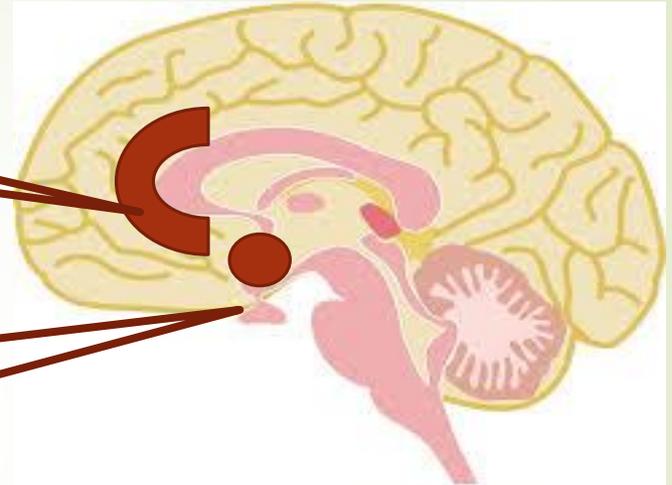
# マインドフルネスと脳科学

前帯状皮質：偏桃体への連絡通路

偏桃体：不安や恐怖から身を守るストレスホルモンを分泌

マインドフルネスをすることにより前帯状皮質等の機能の活性化が見られる。前帯状皮質の機能が高まることで、偏桃体の興奮が抑えられる。

A氏のギャンブルへの衝動性にマインドフルネスが効果的であると考えられる。



## 継続支援の中で...

### ■ 新たなストレッサー

子どもの文化祭があり、見に行ったが会えなかった。寂しさからストレスを感じパチンコに行ってしまう消費者金融から8万円借りた。

### ■ 本人の意識の変化

- ・ 罪悪感を感じている

**SW、訪問看護と協働し、ストレッサーによる寂しさを傾聴し寄り添う。ギャンブルに対する意識が変わってきたことを肯定し、ポジティブフィードバックを行う**

**→本人との信頼関係が築けたと感じた**

## ■母との関係性

### 母の管理体制

#### 金銭

- ・ 本人の給与をすべて管理
- ・ 本人の小遣いは1日500円

#### 服薬

- ・ 内服管理はすべて管理
- ・ 本人に持たせると過剰内服してしまう

#### 受診

- ・ 毎回付き添う
- ・ 医師と話すのはほとんど母

#### 母

同じことを繰り返さないか不安

#### 本人

すべて管理されているためとても煩わしい

## ■ 母との関係性

金銭

1か月の小遣いを3分割して渡す。  
本人がお金を貸してほしいと言っても絶対に貸さない  
よう面談の中で約束。

服薬

徐々に本人が管理できるように母親が一日分の処方  
をまとめ渡してもらい、1日ごとに本人が管理できるよう  
訪問看護と協働。

受診

受診同行の頻度を減らす→まずは2回に1回にしま  
らう

本人の自立を促しながら、母からの過干渉を緩和しストレスを  
軽減。使えるお金が確保できたため、友人との交流も増えた。

## ④ 支援安定期

### ■ 病院

月1回受診時にSWと心理支援面談及びマインドフルネス実践

### ■ 訪問看護

週1回訪問時に体調管理、内服確認、マインドフルネス実践

上記継続した支援体制を作ることができた。

- ・ 介入後、ギャンブルをすることもあったが、気持ちのコントロールができていたと思われる。
- ・ ギャンブルをすること、ギャンブルをする場所が安心できると言っていたが、現在はギャンブルをすることに罪悪感やストレスを感じるようになった。

**ギャンブルに対する認識が変わってきており、ギャンブルに対する抑止力が働いていると思われる。**

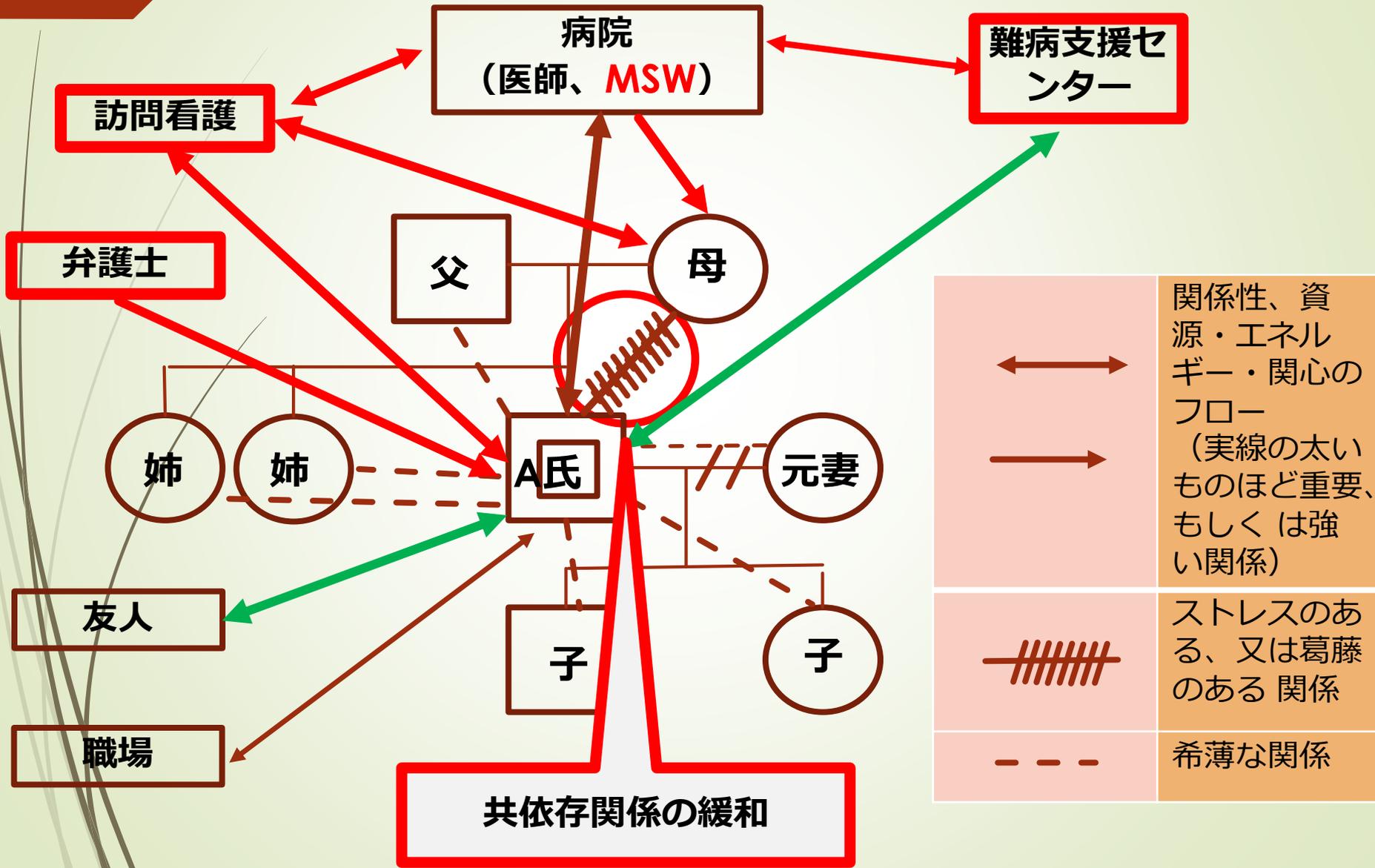
## 5.考察

6か月間ギャンブルをしない期間もあり、スリップすることもあったが、1年3か月の間ギャンブルへの抑止力が認められた。

- ・多職種多機関での関係性の構築
- ・経済的支援等の環境調整
- ・マインドフルネス認知療法でのストレスやギャンブルの認知への介入 等

これらの心理社会的アプローチによる支援の効果があったからと思われる。

# 5. 考察(介入後のエコマップ)



↔	関係性、資源・エネルギー・関心のフロー (実線の太いものほど重要、もしくは強い関係)
→	→
////	ストレスのある、又は葛藤のある関係
---	希薄な関係

共依存関係の緩和

# 今後の展望

フォーマル・インフォーマルな関係の強化を継続し、孤立からの脱却や母との共依存関係の更なる緩和、自立を目指していきたい。

また、スリップをしたとしてもその状況を迎え入れ、目標とする形に立ち戻れるような支援関係を今後も継続していきたい。

# 引用文献

■ 池埜聡(2017)「福祉職・介護職のためのマインドフルネス」  
『ストレス低減のメカニズム』 p17~19

■ 久里浜医療センターHP ギャンブル依存症

[https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/case/gamble\\_case.html](https://kurihama.hosp.go.jp/hospital/case/gamble_case.html)

■ 厚生労働省 ギャンブル等依存症対策について

[https://www.kantei.go.jp/jp/singi/gambletou\\_izonsho/sets\\_umeikai/dai1/siryou4.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/gambletou_izonsho/sets_umeikai/dai1/siryou4.pdf)

■ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 ギャンブル依存症の神経メカニズム

[https://www.amed.go.jp/news/release\\_20170404-02.html](https://www.amed.go.jp/news/release_20170404-02.html)

■ Sarah Bowen PhD, Neharika Chawla MS, Susan E. Collins PhD, Katie Witkiewitz PhD, Sharon Hsu BA, Joel Grow BA, Seema Clifasefi PhD, Michelle Garner PhD, Anne Douglass BA, Mary E. Larimer PhD & Alan Marlatt PhD

(2009) Mindfulness-Based Relapse Prevention for Substance Use Disorders: A Pilot Efficacy Trial

# 引用文献

- 大分大学HP バイオ・サイコ・ソーシャルモデルについて

<https://www.oita-u.ac.jp/000027208.pdf>

- 菊陽病院HP ギャンブル依存症

<http://www.kikuyouhp.jp/disease/gambling.html>

- 公益社団法人 日本精神神経学会HP

[https://www.jspn.or.jp/modules/forpublic/index.php?content\\_id=33](https://www.jspn.or.jp/modules/forpublic/index.php?content_id=33)